

浜田林業部トピックス(7月号)

TOPICS 1

原木椎茸活着点検をおこないました！

7月26日(金)に、生産者7名、JAしまね、日本きのこセンター、種菌メーカーと浜田地域の生産者のホダ場を巡回し、原木椎茸の活着点検をおこないました。

活着点検は、植菌した原木の木口や一部を割った断面から菌糸の伸び具合を確認し、今後のホダ場の管理方法等を決める大切な作業です。

当日は、シイタケ菌の活着状況とホダ場内の日当たりや風通し等の環境を確認し、今後の暑さ対策や害菌対策等について、活発な意見交換がおこなわれました。

近年は、温暖化の影響で夏場の高温障害や病虫害発生危険性が高まっており、これまで以上に細やかなホダ場の管理が求められています。

浜田地域において、今後も県内の一大産地として、生産技術の向上による質の高い乾椎茸の生産がおこなわれることを期待しています。

〔活着点検の様子〕



ホダ場内の様子



枝葉等による伏せ込みの様子



木口断面の菌糸紋



原木を割って菌糸の伸び具合を確認